

産学官連携による将来の人材確保に向けた取組～あいち 土木の魅力・未来プロジェクト～

国土交通省 中部地方整備局 名古屋国道事務所 正会員 ○五十川 泰史
中部建設青年会議 愛知県支部（松尾建設株式会社） 非会員 松尾 景紀

土木分野での担い手の確保は、少子高齢化の中で今後益々困難となることが必至である。この課題は産学官共通のものであり、土木を将来の仕事の選択肢として認識してもらうため、その魅力とやりがいを伝える「あいち 土木の魅力・未来プロジェクト」を産学官共同で立ち上げた。本稿は、その概要を紹介するものである。

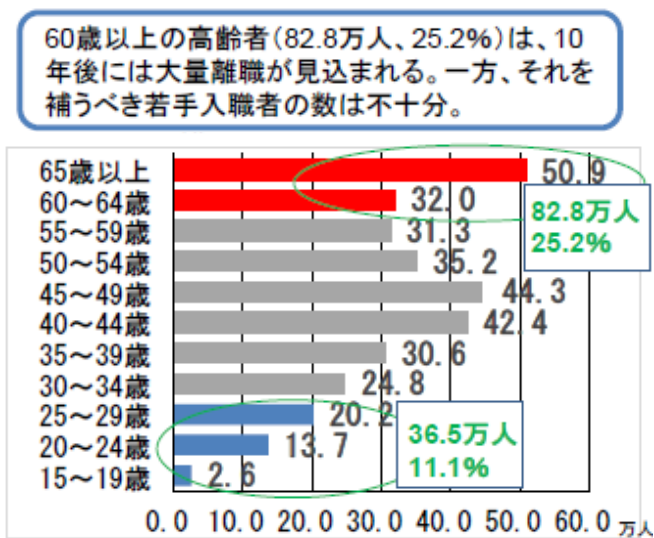
1. 背景

土木分野の担い手確保については、3K(きつい・汚い・危険)イメージの払拭が課題とされて久しいが、加えて少子高齢化によって生産年齢人口全体が縮小することが避けられない中、働き手の減少、高齢化が他の産業と比較しても顕著であり、土木を学んだ学生が他分野に就職したり、土木分野に就職した若者の離職などの課題が指摘され、技術力の継承も危ぶまれる状況となっている。【図-1, 2】

これに対して、国土交通省としても近年、生産性の向上(i-Construction等)や新技術の開発・活用等を促進するとともに、働き方改革(週休2日の促進、現場環境の改善(女性も働きやすい職場づくり))等に取り組み、現場を見学・体験するイベントやインフラツーリズム、広報等を業界団体等と協力・連携して進めているところであるが、個別の取組では注目度にバラツキがあったり、一過性のものとなりがち、「伝わる」広報となっているか?など、「担い手の確保」への効果が明確でないという課題がある。

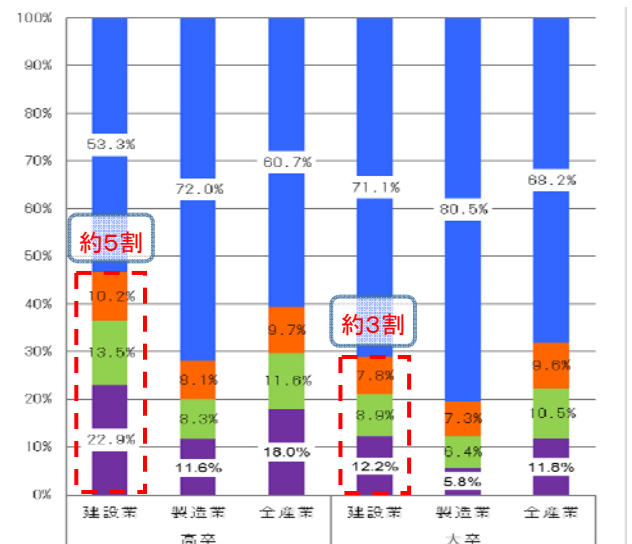
ICTの活用にもそれを使いこなすことができる人材の確保・育成が必要であるなど、今後の土木分野に求められる人材像も踏まえた担い手の確保のための取組が急務となっている。

図-1 年齢階層別の建設技能労働者数



出典:総務省「労働力調査」(H30年平均)をもとに国土交通省で推計

図-2 建設業における離職状況(3年目まで)



出典:厚生労働省「新規高校卒業就職者の産業別離職状況」

2. 契機

担い手確保のためには、これから職業を選択する世代に土木分野で働くことの魅力ややりがいを伝えることが必要であるが、近年注目度急上昇しているのが土木技術者二人組で九州地方を中心に活躍中の「噂の土木応援チーム デミーとマツ」(以下、「デミーとマツ」)である。これまでの“見学”の枠を超えた参加者を惹き付けるイベントを展開してマスコミにも注目されるようになり、「土木広報大賞」(土木学会)で2年連続受賞するなどの活躍を見せている。

キーワード 担い手確保, 土木広報, 小・中・高校生がターゲット, 産学官連携

連絡先 〒467-0833 愛知県名古屋市長瑞穂区鍵田町2-30 TEL052-853-7320

筆者は、令和元年6月に中部建設青年会議が主催した講演会で初めてデミーとマツの話を聞いて衝撃を受け、愛知県でも取り組みたいと考えたが、そのためには彼らのような人材が必要であり、すぐには難しい。一方で、愛知県内でも同様の目的で取り組まれているイベントなどもあり、これらを連携することで効果的なプロジェクトになるのではないかと考えた。これが、このプロジェクトを立ち上げる契機となった。

3. コンセプト

このプロジェクトの目的は、これから職業を選択する世代に土木分野で働くことの魅力ややりがいを伝え、将来（未来）の仕事の選択肢として『土木』を認識してもらうことであり、産学官が連携することで各主体の取組の一体感・一貫性を高め、合わせて魅力ある仕事であることを強く印象づける（伝わる）体験となるよう工夫することで、注目度・認知度が高まる、印象・記憶に残る⇒効果が高まることを目指している。

一方で、新たにイベントを企画・開催すること等は大きな負担となることから、当初からそのようなことは想定せず、プロジェクトに賛同頂くことによるゆるやかな連携とした。

4. 取組内容

以上のコンセプトを踏まえた取組内容として、以下を実施することとした。

① 統一名称『あいち 土木の魅力・未来プロジェクト』の使用

・取組の記者発表や配付資料等にプロジェクト名を記載

・ロゴ、バナーの作成【図-3】

⇒参加機関の職員及びその関係者に募集

② 参加機関の取組についての情報の共有・提供

・ポータルサイトの作成

・関連イベント等の情報共有・提供

= 実績、予定について、開催概要・リンク先等を記載

・SNSの活用

③ 取組の効果の把握・分析

・関連イベント共通で実施するアンケートを作成【表-1】

④ 取組拡大に向けた働きかけ

・令和元年11月11日に開催したデミーとマツ講演会と合わせてこのプロジェクトの立ち上げを宣言するとともに、業界団体等にこのプロジェクトへの参加の検討を依頼【表-2】



図-3 プロジェクトのロゴ・バナー・キャラクター
(制作：森部 正康氏、濱口 僚氏)

- ・今回の見学会の感想・理由
- ・「土木」に携わる職業について知っているか
- ・「土木」に携わる職業に魅力を感じるか・理由
- ・「あいち～プロジェクト」を知っているか
- ・今回の見学会をどのように知ったか
- ・属性(家族の職業、将来なりたい職業など含む)

表-1 アンケート項目(案)

- <産>
中部建設青年会議愛知県支部、
日本道路建設業協会中部支部 ほか
- <学>
土木学会中部支部、名古屋大学、名古屋工業大学、
中部大学、東海工業専門学校金山校
- <官(公益企業等含む)>
国土交通省河川・道路系事務所、愛知県、名古屋市、
NEXCO 中日本名古屋支社環境・技術管理部 ほか
計 26 機関

表-2 参加機関(令和2年3月末現在)

5. 結び

このプロジェクトは、令和元年11月に立ち上げを宣言し、準備期間を経て令和2年4月に活動を開始する予定であり、当面試行錯誤しながら取組を進めていくこととなる。効果については、アンケートの分析等で把握する予定であり、また別の機会に報告できればと考えている。

産学官が連携し、統一名称を使用したこのプロジェクトのこれからの展開に注目頂くとともに、ご理解・ご協力、ご指導等をお願いします。